

平成25年度進行管理・評価シート
水戸市歴史的風致維持向上計画（平成22年2月4日認定）
（最終変更平成25年3月29日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討／②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進／③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 借楽園公園整備事業	3
2 弘道館公園整備事業	4
3 第二中学校周辺環境整備事業	5
4 備前堀沿道地区都市景観形成助成事業	6
5 北三の丸通り道路景観整備事業	7
6 御杉山坂道路景観整備事業	8
7 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	9
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財指定, 調査, 保存管理計画策定等の推進	10
2 文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	11
3 文化財に関する普及・啓発の推進	12
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「謎解く八角形墳」他	13

口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	14
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成25年度
		現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容	○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会:計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会:地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第11条第1項の規定により組織。計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成21年度より主要事業に順次着手しているが、計画をさらに円滑に推進するため、平成22年2月より水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の下部組織として、水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループを設置し、課題の調査及び検討を行った。

【各会議の実施回数】
 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ (4回)
 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会 (2回)
 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (1回)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- ① 水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ会議
 (座長:文化課長, 副座長:都市計画課長, 委員:関係課長補佐)
 ○第1回:平成25年6月6日開催
 ・弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり基本構想(案)について
 ○第2回:平成25年6月28日開催
 ・本市の歴史まちづくり(案)について
 ・旧水戸城建造物の復元整備に向けた基本構想の策定方針(案)について
 ○第3回:平成25年10月30日開催
 ・弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり基本構想(案)について
 ・借楽園周辺地区・備前掘地区の歴史まちづくり構想(案)について
 ○第4回:平成25年11月27日開催
 ・本市の歴史まちづくり(案)について
 ・弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり基本構想(案)について

- ② 水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会
 (委員長:教育次長, 副委員長:都市計画部長, 委員:関係課長)
 ○第1回:平成25年7月3日開催
 ・本市の歴史まちづくり(案)について
 ・旧水戸城建造物の復元整備に向けた基本構想の策定方針(案)について
 ○第2回:平成26年2月26日開催
 ・弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり基本構想(案)について



水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会

- ③ 水戸市歴史的風致維持向上計画協議会
 (座長:茨城県文化財保護審議会会長, 他)
 ○第1回:平成25年5月30日開催
 ・平成24年度進行管理・評価シートについて



水戸市歴史的風致維持向上計画協議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
水戸市景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、借楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①大規模建築物等の景観誘導: 水戸市景観計画(平成20年度策定)及び水戸市都市景観条例(平成4年度施行)により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図っている。(平成25年度届出件数: 48件(水戸市全域))
- ②建築物等の行為の制限: 重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図っている。
- ③屋外広告物の行為の制限: 水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「借楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図っている(平成25年度許可件数: 724件(水戸市全域))。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげている。

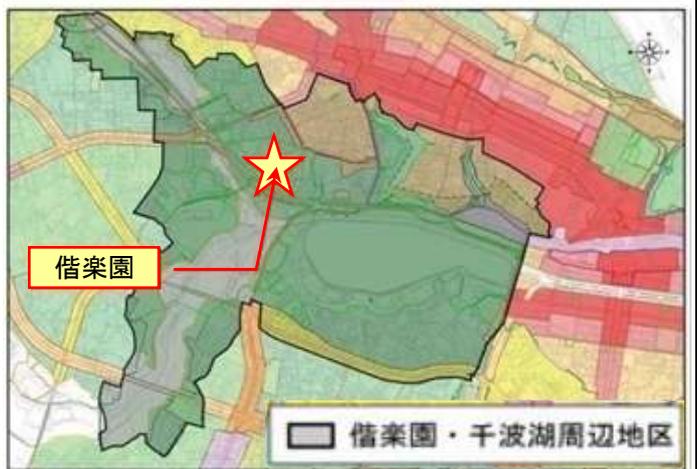
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- ①大規模建築物等の景観誘導
良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている(対象区域: 水戸市全域)。
- ②建築物等の行為の制限
重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。
【良好な景観を保全する地区】
●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●借楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他
- ③屋外広告物の行為の制限
弘道館や借楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す(条例第6条)。
【規制内容】
これらの地区では、次の屋外広告物は表示できない。
●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等)
また、次の基準を満たす必要がある。
●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。



屋外広告物特別規制地区

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
借楽園公園整備事業		現在の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和43年度～平成25年度

支援事業名 県単独事業, 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 好文亭等現存する歴史的建造物の保存修理, 表門の周辺整備, 土塁整備, 園路整備, 植栽整備等

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

借楽園の歴史性を踏まえた環境整備を進め, 魅力向上を図るため, 平成25年度は次に掲げる事業に着手した。
 ① 東門脇に歴史的景観に調和し, 情報発信や県特産物をPRする新たな施設「見晴亭」を設置: 平成26年2月完成
 ② 表門周辺の修景について, 幕末期の景観に戻すため, 樹木移植などを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

①「見晴亭」

<施設平面図>



<現況>



②表門周辺の修景整備



整備前 刈り込みの境栽や仕立てたツゲ・マツ・ツツジにより, 本来の広小路的な機能が失われていた。

整備後 梅の疎林が復元的に整備され, 本来あるべきおらかで広がりのある空間が再現された。

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
弘道館公園整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	○国有財産:国直轄事業 ○県有財産:史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備費国庫補助		
計画に記載している内容	保存活用計画の策定, 施設の保存修理, 案内施設の整備等		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

東日本大震災により、重要文化財である正庁、至善堂、正門、特別史跡内の学生警鐘、弘道館記碑、孔子廟、孔子廟戟門及び築地塀、種梅記碑等が多大な被害を受けた。現在、被災建物内への入場を禁止し、部分公開している。こうした状況に対し、旧弘道館復旧整備検討委員会において、復旧工法等を諮りながら、慎重に復旧工事を実施した。

【国有財産の進捗状況】

- 正庁・至善堂:平成26年3月復旧完了
- 正門附塀:平成26年3月復旧完了
- 番所:平成26年3月復旧完了
- 孔子廟戟門:平成26年3月復旧完了
- 学生警鐘:平成26年3月復旧完了
- 種梅記碑:平成25年3月復旧完了
- 八卦堂・弘道館記碑:平成25年11月復旧完了

【県有財産の進捗状況】

- 国老詰所:平成26年3月復旧完了
- 正庁浴室及び便所, 至善堂便所:平成26年3月復旧完了
- 築地塀:平成25年12月完了
- 孔子廟:平成25年12月完了

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○復旧が完了した建造物の例① 弘道館記碑



復旧前 多数の石材が崩落するとともに、碑身に大小



復旧後 碑身と台石を強化し、創建当時に近い形状で

○復旧が完了した建造物の例② 正庁



復旧前 屋根椽瓦のあばれ、内外壁に剥離・落下・亀裂が生じるとともに、建具が損傷した。



復旧後 在来工法により、屋根瓦の葺替・補修、壁の塗り直し、耐震補強を行い、震災前の状態に戻した。

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
第二中学校周辺環境整備事業		現在の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 見晴台整備

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○歩道整備・見晴台整備 平成25年度6月完了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



見晴台入り口

周辺の歴史環境と調和するよう屋根を瓦葺きにした。



遊歩道わき植栽

歴史的景観を損ねないように配慮した。



見晴台からの景色

良好な眺望景観の保全を図った。



遊歩道

当時に偲ぶことができる土色舗装とし、武徳殿跡碑の見学ルートとしても整備した。



整備実施箇所



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
備前堀沿道地区都市景観形成助成事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成15年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 備前堀沿道区域における優れた都市景観づくり(備前堀の持つ歴史性と調和した和風による統一感のあるまちなみの形成)に寄与する行為に対して、助成金を予算の範囲内で交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24～25年度助成事業: 1件(建築物の新築事業)
 ・建築物の新築事業: 新たに景観形成基準に沿った建築物(住宅)を建築した。(平成24年度着手)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

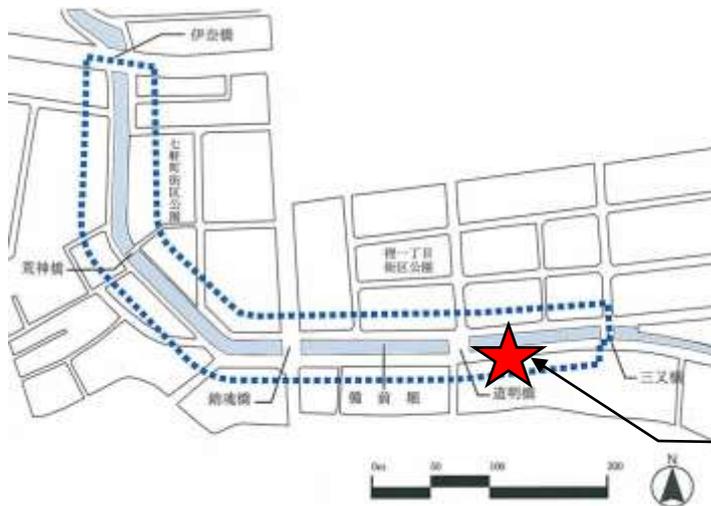
建築物(住宅)の建築事業



事業完了後の備前堀



景観形成基準に沿った建築物の建設



助成実施箇所

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
北三の丸通り道路景観整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 北三の丸通り(都市計画道路3・4・14号栄町若宮線)の道路改良及び電線共同溝を実施し、周辺地区の歴史的風致の維持及び向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

25年度は、整備予定区画(L=590m)のうち、140m区画について、用地買収を実施した。また、水戸東武館の移築に伴う解体工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

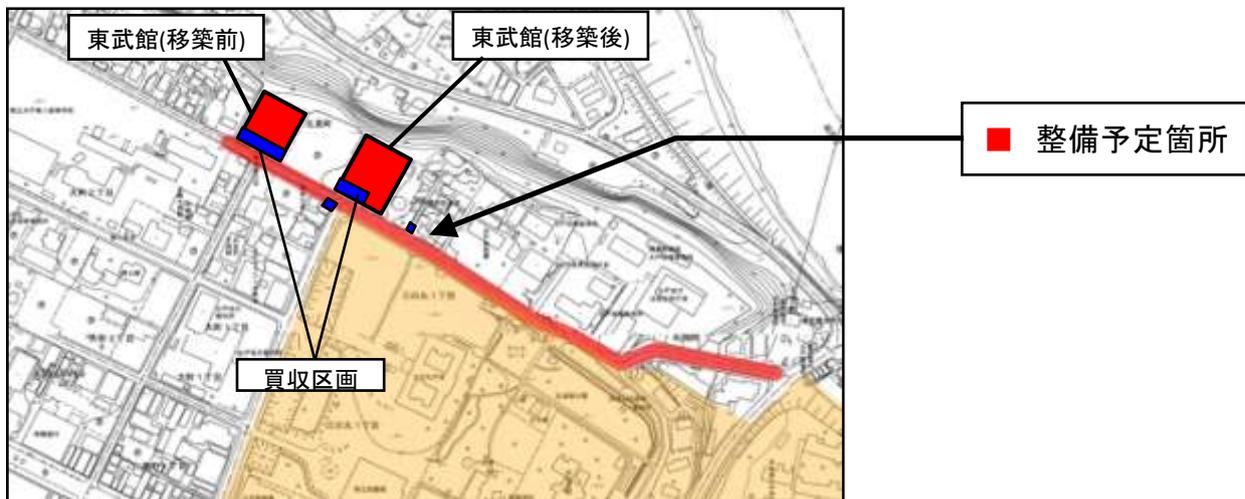
状況を示す写真や資料等

道路景観整備事業



買収区画

水戸東武館(移築前)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
御杉山坂道路景観整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	御杉山坂(市道上市206号線)の道路改良及び電線共同溝を実施し、周辺地区の歴史的風致の維持及び向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

25年度は、整備予定区画(L=150m)のうち、150m区画について、支障埋設管の撤去を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

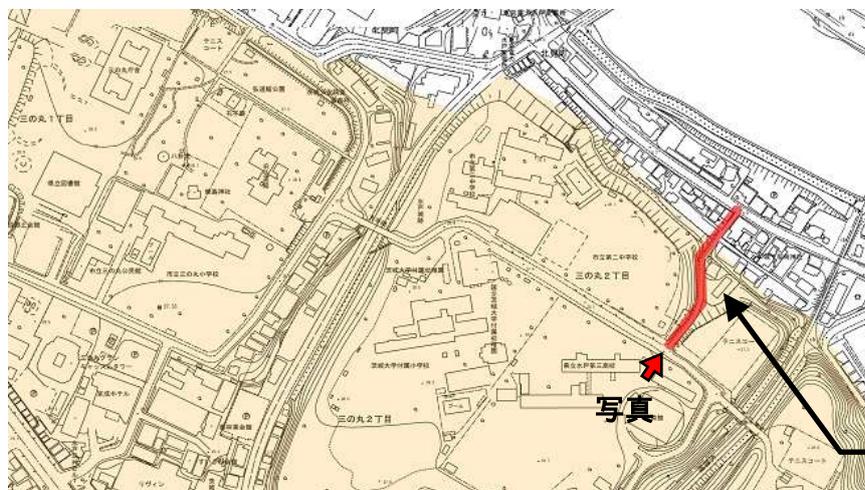
状況を示す写真や資料等

道路景観整備事業



現況

御杉山坂(市道上市206号線)は、初代藩主徳川頼房が寛永2(1625)年の水戸城大改修に伴って整備したもので、藩主御殿のあった二の丸曲輪に通じる重要な通路であった。
 現在でも、道路の屈曲や勾配、斜面中段の平地が古地図のまま維持されているものの、電柱が多く、現代的な歩道、車道が歴史的景観にそぐわないため、電線の地中化や道路拡幅、車道・歩道の再整備を行う。



写真

■整備予定箇所

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、市内の民俗芸能団体の活動に対し補助金を交付し、重点区域を含む各地域の歴史的風致を生かした魅力あるまちづくりを、官民協働により推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○助成団体:6団体(大串ささらばやし保存会, 大野みろくばやし保存会, 杖友会, 水戸市民俗芸能団体協議会, 向井町散々楽保存会, 水戸若鷺会) ○助成金額:総額660千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無形民俗文化団体の発表の場が限られているため、26年度に「郷土民俗芸能のつどい」を開催し、周知を図る。		

状況を示す写真や資料等



大串ささらばやし(大串ささらばやし保存会)
 大野みろくばやし(大野みろくばやし保存会)
 開催日:平成25年11月10日
 開催場所:埋蔵文化財センター(風土記の丘ふるさとまつり)



大野みろくばやし(大野みろくばやし保存会)
 開催日:毎週土曜日
 開催場所:下大野市民センター



田谷の棒術(杖友会)
 開催日:平成26年2月2日
 開催場所:国田公民館(生涯学習フェスティバル)



はしご乗り(水戸若鷺会)
 開催日:平成26年1月12日
 開催場所:千波公園(消防出初式)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化財指定、調査、保存管理計画策定等の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【平成25年度の水戸市指定物件】 ※指定年月日：平成25年10月25日 ①日新塾跡出土オランダ陶器(考古資料) ②水戸東武館 道場・正門附塀(建造物) ③新田宮流抜刀術(無形文化財)		【平成25年度に実施した文化財の調査】 ①石川明善日記(市指定文化財)の翻刻(年15回)、関連講座の開催(年2回) ②市指定天然記念物ヒカリモ(備前町)の調査(年7回)	
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

平成25年度水戸市指定文化財

文化財の調査



①日新塾跡出土オランダ陶器



石川明善日記の調査



③新田宮流抜刀術



史跡吉田古墳発掘調査



②水戸東武館(道場・正門附塀)



史跡吉田古墳の保存管理計画の策定に向けた会議

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
文化財の修理、整備、防災事業の推進		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 【文化財の修理・整備】文化財に対する保護・整備を拡充するため、所有者・管理者等との連携を図り、必要に応じて修理・整備に努める。【文化財の防災】防災体制、設備の整備を図るとともに、防災訓練や啓発事業を実施する。

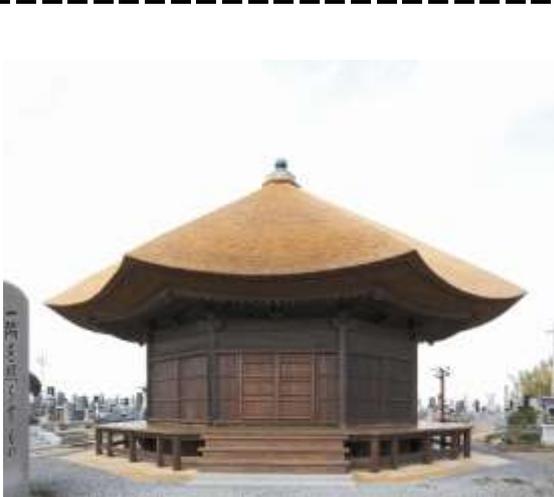
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<p>【文化財の修理事業】</p> <p>○佛性寺本堂災害復旧事業 平成23年度から25年度の3カ年で、東日本大震災によって被災した重要文化財佛性寺本堂の解体修理を実施した。平成25年度は、組立工事、茅葺の屋根工事、建具工事等を行ったほか、公開見学会を実施し、茅で屋根を葺く様子や木材加工の様子を公開した。</p> <p>○六地藏寺典籍文書保存修理事業 昭和48年から、六地藏寺に伝わる六地藏寺所蔵典籍・文書(県指定文化財)の保存修理を順次実施しており、平成25年度は、「金剛頂瑜伽護摩儀軌」など計18点の文書等の裏打ち補修を実施した。</p>	<p>【文化財の整備事業】</p> <p>○文化遺産説明板等の設置 (水戸東武館(水戸市歴史的風致形成建造物指定))</p> <p>【文化財の防災事業】</p> <p>○文化財防火デーの実施 (平成25年1月24日、於：中原不動尊、参加者57名)</p>
--	---

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

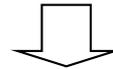
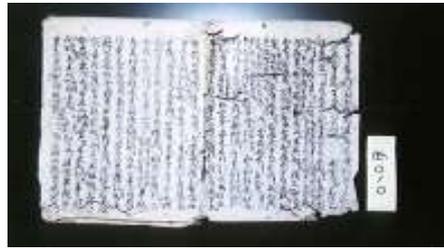
状況を示す写真や資料等

【文化財の修理事業】



佛性寺本堂災害復旧工事

修理前



修理後



六地藏寺典籍文書保存修理事業

【文化財の整備事業】



歴史的風致形成建造物の指定を示す案内板の設置(水戸東武館)

【文化財の防災事業】



文化財防火デー(中原不動尊)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成25年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】

- ①平成25年3月29日～4月7日・8月2日～8月16日 文化財ライトアップ 場所:水戸城跡土塁及び堀・低区配水塔
- ②平成25年7月27日・9月28日 かやぶき体験教室 場所:埋蔵文化財センター 参加者:計137名
- ③平成25年7月26日・31日 水戸郷土かるためぐり 場所:くれふしの里古墳公園ほか4か所 参加者:65名
- ④平成25年11月16日 佛性寺本堂保存修理工事見学会 場所:佛性寺 参加者:40名
- ⑤平成25年8月24日 ダイダラボウ大昔たいけん隊 場所:埋蔵文化財センター 参加者:74名
- ⑥平成25年8月4日・25日・11月10日 勾玉をつくろう 場所:埋蔵文化財センター 参加者:174名
- ⑦平成25年9月10日～10月23日 「日本美術院の作家たちと五浦の風景」展 場所:市立博物館 来館者:1,717名
- ⑧平成25年10月19日・26日 みと歴史講座『石川明善日記』から水戸藩幕末史の一片 場所:市立博物館 参加者:66名
- ⑨平成25年9月14日～16日 ラグビー大会等での文化財の普及・啓発 場所:ケーズデンキスタジアム
- ⑩平成25年10月9日・18日・23日 史跡めぐり 場所:筑波山神社, 桜川磯部稲村神社 参加者:75名
- ⑪平成25年11月10日 風土記の丘ふれあいまつり 場所:埋蔵文化財センター 来園者:8,000名
- ⑫平成25年12月9日 公開講座「考古学からみた7世紀の政治変動」 場所:埋蔵文化財センター 参加者:47名
- ⑬平成26年1月11日～1月26日 水戸郷土かるた大会 場所:市内各所 参加者:2,679名
- ⑭平成26年2月15日 水戸郷土かるた中央大会 場所:茨城県武道館 参加者:375名

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

本市の歴史的資源の周知及び魅力向上に向け、引き続き普及・啓発事業を推進する。

状況を示す写真や資料等

		
①文化財ライトアップ	②かやぶき体験教室	③水戸郷土かるためぐり
		
④佛性寺本堂保存修理工事見学会	⑤ダイダラボウ大昔たいけん隊	⑥勾玉をつくろう
		
⑦日本美術院の作家たちと五浦の風景展	⑧みと歴史講座	
		
⑩史跡めぐり	⑪風土記の丘ふれあいまつり	⑭水戸郷土かるた中央大会

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成25年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
謎解く八角形墳	平成25年7月4日	よみうりタウンニュース	
弘道館石碑 修復石碑を八卦堂へ	平成25年10月18日	茨城新聞	
おかえり「弘道館の碑」	平成25年10月18日	読売新聞	
被災「弘道館石碑」が修復完了	平成25年10月18日	産経新聞	
弘道館復旧工事で新発見	平成25年10月17日	NHK水戸放送局	
弘道館2室に二重床	平成25年10月20日	読売新聞	
加倉井砂山の墓前 功績伝える説明板	平成25年11月6日	読売新聞	
水戸市指定文化財に3件 新田宮流抜刀術など	平成25年11月12日	読売新聞	
加倉井砂山の生涯解説 日新塾主宰 墓前に説明板設置	平成25年11月13日	茨城新聞	
指定文化財に水戸東武館	平成25年11月13日	茨城新聞	
弘道館石碑、末永く 修復完了、関係者ら祝う	平成25年11月19日	茨城新聞	
弘道館石碑修復祝う きょうから一般公開	平成25年11月19日	読売新聞	
被災の「石碑」修復 きょうから特別公開	平成25年11月19日	東京新聞	
かやぶき作業見学 修理の佛性寺 住民や檀家ら40人	平成25年11月19日	茨城新聞	
弘道館石碑の復旧工事が完了 きょうから特別公開	平成25年11月19日	毎日新聞	
水戸東武館など市文化財に指定	平成25年11月20日	毎日新聞	
水戸の「弘道館石碑」修復終わり一般公開へ	平成25年11月20日	産経新聞	
幻の光藻 公開へ検討 来年度予算に調査・研究費	平成25年12月13日	朝日新聞	
吉田古墳は八角墳 天王陵と同形「希少」観光拠点化へ期待	平成25年12月19日	茨城新聞	
吉田古墳は八角形墳 畿内の天王陵と同じ 全国20例のみ	平成25年12月19日	朝日新聞	
ヒカリモ 水戸の魅力に	平成25年12月19日	茨城新聞	
観光地化、膨らむ期待 (ヒカリモ)	平成25年12月20日	茨城新聞	
「八角形墳」可能性高まる 水戸・吉田古墳	平成25年12月27日	毎日新聞	
伝統の剣道場 引っ越し 創立140年「水戸東武館」道路拡幅工事で	平成26年1月25日	朝日新聞	
偕楽園に見晴亭開設 情報発信の拠点期待	平成26年2月23日	茨城新聞	
偕楽園「見晴亭」完成	平成26年2月23日	読売新聞	
観梅客の憩いの場に 偕楽園「見晴亭」完成	平成26年2月23日	産経新聞	
着々と戻る水戸の名所 偕楽園に「見晴亭」新築	平成26年2月23日	東京新聞	
関東一の荒道場 移築中 (水戸東武館)	平成26年2月26日	読売新聞	
復元整備へ課題精査 水戸城跡周辺地区	平成26年3月8日	茨城新聞	
偕楽園に新施設 弘道館、修繕し耐震化	平成26年3月11日	茨城新聞	
水戸東武館の道場移築 道路拡幅で来年度4月に開場	平成26年3月14日	茨城新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

報道により、現場見学や資料提供等の問い合わせが県内外から集中するなどの反響があった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

近年、情報発信ツールが多様化していることから、ソーシャルネットワーク等のツールを活用していく。

吉田古墳は八角墳

水戸市確認



天皇陵と同形「希少」

観光拠点化へ期待

【水戸市吉田町】吉田古墳は、約1800年前の古墳であることが、18日までの発掘調査で確認された。水戸市は、この古墳の発掘調査で、皇陵と同形の八角墳が確認された。皇陵と同形の八角墳は、全国的にも希少である。水戸市は、この古墳の発掘調査で、皇陵と同形の八角墳が確認された。皇陵と同形の八角墳は、全国的にも希少である。水戸市は、この古墳の発掘調査で、皇陵と同形の八角墳が確認された。皇陵と同形の八角墳は、全国的にも希少である。

これほどの調査、力に及びません。地盤が硬く、掘削の作業も大変です。この古墳は、皇陵と同形の八角墳です。皇陵と同形の八角墳は、全国的にも希少です。水戸市は、この古墳の発掘調査で、皇陵と同形の八角墳が確認された。皇陵と同形の八角墳は、全国的にも希少です。

茨城新聞
平成25年12月19日

水戸市 指定文化財に水戸東武館

抜刀術「新田宮流」も

水戸市は、市指定文化財に「水戸東武館」を指定した。また、同館で継承されている「新田宮流」の抜刀術も指定された。水戸市は、市指定文化財に「水戸東武館」を指定した。また、同館で継承されている「新田宮流」の抜刀術も指定された。



水戸市指定文化財に指定された水戸東武館＝同市北見町

この古墳は、皇陵と同形の八角墳です。皇陵と同形の八角墳は、全国的にも希少です。水戸市は、この古墳の発掘調査で、皇陵と同形の八角墳が確認された。皇陵と同形の八角墳は、全国的にも希少です。

茨城新聞
平成25年11月13日

評価対象年度 平成25年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:平成26年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時:平成26年5月23日(金) 午後1時30分～
(会場:水戸市総合教育研究所2階 研究室2)

(コメントの概要)

・借楽園における梅の木の病気について

平成21年度に借楽園本園から約800m離れた拡張部において、市民団体が植えた苗木の一部がウメ輪紋ウイルス(PPV)に感染していたようだ。ウメ輪紋ウイルスの感染は毎年2～3本見られ、3年間の潜伏期間をもつことを考慮し、周辺の木も処分していたが、それでも毎年感染が見られたため、苦汁の決断ではあったが、市民団体と相談の上、昨年11月に全て処分した。

毎年追跡調査はしているが、今年は範囲を広げて、借楽園の周辺も含めて調査に入っていた。ウイルスはアブラムシが媒介するため、感染範囲が限られており、感染が見られた場所から500m以内を検査した。報告では、感染範囲は300m以内に収まっており、本園までは約800mあるので届いていないはずだが、周辺の方々が移動している間に入ってしまう可能性があり、本園に感染することは死活問題になるので、安全の為に大規模な検査を行った。

・弘道館所用瓦の再利用について

旧弘道館の瓦については、三の丸市民センターの耐震改修の際に、歴史的で趣のある外壁となるよう再利用する方向で検討中である。瓦が旧弘道館の敷地内に存在し続けることが重要な意味をもつと考える。

・歴史的風致維持向上計画全体に関する今後について

水戸市の旧市街地は、第二次世界大戦で市街地の約8割が焼け野原になり、多くの歴史的建造物が焼失してしまった。それにもかかわらず重点区域の指定を受けられたのは、町と道路の町割りがかほとんどそっくり残っていたからであり、被災しながらも歴史的風致維持向上計画の認定都市となることができたのは水戸市が初の事例である。今後も、そのことを良く理解した上で、歴史まちづくりに取り組んでほしい。



協議会の開催状況→

(今後の対応方針)

今後の歴史まちづくりの推進に当たっては、県と市とがお互いの意向を十分に理解し、文化財の活用を含めた協力体制を構築しながら、より一層、連携を図っていく。